

平和の誓いを

平成24年度氷川町戦没者追悼式

4月4日、氷川町公民館において氷川町戦没者追悼式が行われ、遺族や関係者約200人が出席しました。(梅)が献灯を行い、全員で黙祷を捧げました。

続いて、氷川町遺族連合会を代表して星田清治さん(東上宮)が「戦没者への慰霊と平和の願いは決して忘れてはならない。このような戦争を二度と繰り返さず、学んだ教訓と、平和の大切さを次の世代へと語り継ぐことが私たちの責務。」と追悼の言葉を述べました。



▲深い悲しみを繰り返さないように

氷川町の安全を守ります

交通指導員委嘱状交付

4月6日、氷川町役場庁議室において藤本町長から氷川町交通指導員(委嘱状)の交付が行われました。

今回、委嘱状の交付を受けられたのは、滝本龍夫さん(河原)、前橋照雄さん(高塚)、元松四男さん(東網道)、中島和人さん(高野道)、前田正裕さん(高塚)、宮下照喜さん(北野津)、宮本義弘さん(上鹿島)、松浦征六さん(吉本)、吉村郁夫さん(新村北)、森崎金蔵さん(東上宮)、久保田武徳さん(梅)、福原文生さん(東上宮)、山本幸則(桜ヶ丘)さんの13人です。



▲指導員の皆さん、よろしくお願いします

義務教育最後の3年間はスタート

町内中学校で入学式

4月9日、町内中学校において入学式が行われました。

今年度の新入生は、竜北中77人、氷川中43人の計120人。

竜北中学校では、期待と不安でいっぱいという表情が見られる中、新入生を代表して作原響太くん(上鹿島)が「伝統ある竜北中学校に入学し、中学生だという自覚をしっかりと持ち、一人でも多くの友だちを作って、部活動や勉強に頑張りたいと思います。先生方のご指導と先輩方の教えを守り、立派な竜北中学校の生徒になります。」と力強く、誓いの言葉を述べました。



▲新入生代表誓いの言葉を述べる作原響太くん

友だち100人できるかな!

町内小学校で入学式

4月10日、町内小学校において入学式が行われました。

今年度の新入生は、西部小33人、小33人、宮原小35人の計101人。

竜北東小学校では、ぶかぶかの制服に身を包み、目をキラキラと輝かせた新入生が、お父さん、お母さんに見守られながら元気良く入場しました。慣れない学校の雰囲気緊張している様子も見られましたが、校長先生からのお話にも上手に聞くことができ、問いかけにも元気に返事することができました。



▲小学校生活が楽しみ!

町民文芸

短歌

万葉の歌の歌碑立つ松浦山  
ここ佐用姫が領布振りし山  
北野津 宮本 末秋

花見たき満開近きかおりよき  
弁当を持ちて母と子ら登る  
上高塚 桑原ゆき代

繋がれし儘に居眠る老犬に  
春陽普く注ぎてあたり  
吉本 高橋 澄子

満開の桜仰ぎて何徳ぶ  
友は何処に便り途絶えて  
北鹿野 早川 博

曾孫のぼくらはみんな生きている  
歌ってまわるぐるぐる回る  
西野津 古崎スエノ

彼岸日の墓碑にとまりし蜜蜂の  
主と我に春連れてきし  
南鹿野 尾崎 京子

満開の桜の下で舞ふあがる  
胸も高まるレークダンス  
西野津 古崎 栄子

朝刊の郵便受けに入る音  
耳にしやおら床を離れる  
吉本 橋村 正之

八十路をば越えたる燭ら集まりて  
作りし紙皿嬉々と回せり  
西上宮 村内 一誠

運のよきホールインワン三つあり  
グラウンドゴルフらくらく優勝  
下高塚 竹中 力

花吹雪千里の山河越え行かむ  
みちのくの闇いつ晴れるやら  
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

俳句

藪畑にうぐいす鳴きて腰のばす  
北野津 宮本 末秋

かおりよき三葉萌ゆれば摘みにゆく  
上高塚 桑原ゆき代

雨上がり杏の花の輝きて  
吉本 高橋 澄子

世直しは黄門様かみのもんだ  
北鹿野 早川 博

庭木々の芽雲光る花の雨  
西野津 古崎 栄子  
花の冷えみちのくの空遠く憶ふ  
町 香山菊童子

絵手紙の筆をとりあげ蝶の屋  
町 香山セツ子

かんざしの房並びたる木五倍子かな  
西上宮 村内 一誠

会場は桜咲く丘のご自慢  
下高塚 竹中 力

万物は神の化身よ春山河  
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

たたくみて待つ身は長し春の月  
桜ヶ丘 吉田 照子

春夕焼つつがなき日に手を合わす  
町 田中 澄子

音色よし我も一座の花籠  
桜ヶ丘 宮崎トシ子

鯉幟り

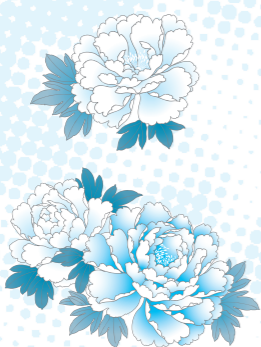
北鹿野 早川 博

宝孫健やか祈る 鯉幟り  
皐月の風に 身を任せ  
屋根より高く 勇みて遊ぶ  
世の風受けて 元気に育て  
五月五日の 端午の節句  
晴れの門出の 祭りなら  
風さん強く 吹いてくれ  
元気な遊び 見せてやる  
武者に守られ 滝をも昇る  
鎧兜が 良く似合う  
男冥利の 晴れ姿  
おもしろそうに 遊いでる  
親子元気に 仲睦まじく  
未来の夢を 語らい乍ら  
永い人生 健やかなれと  
集いて祝う 端午の節句

朝の駅

吉本 橋村 正之

いつも変わらずあの場所  
電車の到着待つて居る  
あの素敵だ惹かれるね  
手立てはないかアプローチ  
ミスかそれともミスかな  
気になる左手くすり指  
確かめようにも離れてる  
も少し傍に寄らなくちゃ  
あの人今朝は見当たらず  
何が有ったか知らないが  
朝のときめきお預けて  
気合い抜けた感じだね  
いつもの場所に今朝は居た  
あの人やっぱり素敵だな  
気持ちは焦るアプローチ  
仲々きつかけつかめない



投稿いただきます作品は、短歌・俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。  
また、確認のためお電話することもありますので、連絡先の記入をお願いします。